

長根だより

令和8年2月15日

2月号

長根小 学校通信

【校訓】

強く 明るく よく励む

支え合いの中で輝く子どもたち

長根小学校長 三宅 勝之

【学校展示会 —長根芸術祭2025フィナーレ—】

学校展示会が無事に開催され、たくさんの方に足を運んでいただきました。日頃の学習をもとに、一人一人が工夫をこらした作品が並び、会場には子どもたちの表現する力があふれていました。

児童からは「友達の作品を見ると新しいアイデアが浮かんだ」「頑張ったところを見てもらえてうれしい」などの声が聞かれ、参観された方々からも「見応えがあった」「どの作品も個性が光っていた」と好評をいただきました。

午後には愛知陶磁美術館 館長様による記念講演が行われ、瀬戸という特別な土地に受け継がれてきた文化についてお話をいただきました。瀬戸の土に宿る力と、その歴史の豊かさに触れ、子どもたちは自分たちの地域への誇りと自覚を深めるひとときとなりました。

【感謝の会】

日頃より学校の教育活動を支えてくださっているボランティアの皆様に、感謝の気持ちをお伝えする会を行いました。読み聞かせ、登校見守り、環境整備など、さまざまな形で子どもたちに寄り添ってくださっている皆様のおかげで、学校生活は豊かで温かいものになっています。

代表児童からの言葉や合唱の発表を通して、感謝の気持ちをまっすぐに届けることができました。これからも、地域の皆様とともに子どもたちの成長を支えていける学校づくりを進めてまいります。

学校展示会で見せた子どもたちの表現する力と、日頃から支えてくださるボランティアの皆様への感謝の気持ち。その両方が重なり合い、地域とともに歩む本校の学びの豊かさをあらためて実感するひと月となりました。

未来につながる子どもたちへ No.91

きょうしつ 教室いっぱいに広がった感動 -学校展示会-

ともだち さくひん おどろ た がくねん くふう こころ うご じぶん ひょうげん み よろこ むね は 友達の作品に驚き、他学年の工夫に心を動かされ、自分の表現を見てもらえた喜びに胸を張る——
そんな“出会い”がみなさん の感想から溢れていきました。家族と歩いた時間、質問を通して生まれたつながり、新しい発想に刺激を受けた瞬間。それぞれがもつ個性が教室中で輝き合い、「またやりたい」「自信がついた」という声がたくさん届きました。長根芸術祭は、みんなの心に温かい光をともしたようです。